

Y2Kによる我が国への影響について

平成12年1月3日午後8時現在

2. 具体的事例

(1) 電力

- ・ 1月1日0:02に東北電力女川原子力発電所1,2号機において「プロセス計算機検出器故障」警報が発報し、1月1日0時12分に自動で正常に復帰した。
その後、1月1日8時02分にも同じ警報が発報し1月1日8時12分に自動でクリアした。また、その後の調査で、昨年11月及び12月にも複数回、同じ警報が発報していることが判明。以上の点及びコンピュータについてはY2K対応のプログラム改修及び模擬試験が行われていることから、原因がY2Kとは考えられないが、原因調査を行う。
- ・ 1月1日2:00頃関西電力(株)高浜原子力発電所関係の舞鶴市内にある2カ所のモニタリングポストのデータを京都府へデータ伝送ができていないことが判明。なお、伝送は1月1日6時30分ごろ復旧済み。原因については現在調査中。
- ・ 1月1日8:58に、東京電力(株)福島第二原子力発電所1号機(沸騰水型、定格出力110万KW)が定格出力運転中、「制御棒位置指示系重故障」の警報が発生し、制御棒の位置表示が行われなくなった。その後、1月1日11:15に制御棒指示系盤のエラー表示器の動作不良を確認した。その後エラー表示器の制御基盤の内蔵時計を確認したところ、日付が2036年2月6日となっており、2000年1月1日に修正したところ、1月1日14:12に、制御棒位置指示系の機能が回復。原因については、引き続き調査中。

(2) ガス

(3) 上水道

(4) 石油

(5) 核燃料施設等

(6) 電気通信

(7) 放送

(8) 金融

- ・ 1月2日、Y2Kに起因する障害(法人顧客が取引照会をした際に、当該情報が消去される可能性がある)を発生させた外銀の1社については、現在復旧に向け対応中。

(9) 航空

- ・ 小型機運航事業者等が飛行計画の通報、ノータム（航空情報）・気象情報の入手を行うためのシステム（サテライト空港運航管理卓の運航者端末、54の運航者等が利用）について、飛行計画の通報は可能であるが、運航者端末からリクエストされたノータム・気象情報は運航者端末にプリント出力されるものの、端末の画面には表示されない障害が生じている。現状では、運航者はプリント出力の他に、別途、電話、FAX等により、関係情報は入手可能なことから、通常どおりの運航は可能。原因については現在解明中であるが、復旧には1週間程度かかる見込み。

(10) 海運

(11) 鉄道

(12) 医療

(13) 政府部門

- ・ 1月3日、外務省の電子メールシステムにおいて、メールの自動移動・削除機能の一部に不具合発生を確認したが、同日午後6時に障害は復旧済み。原因は調査中。

(14) 信号機

(15) 通関

(16) 入国管理

(17) 地方公共団体

(18) 地域情報